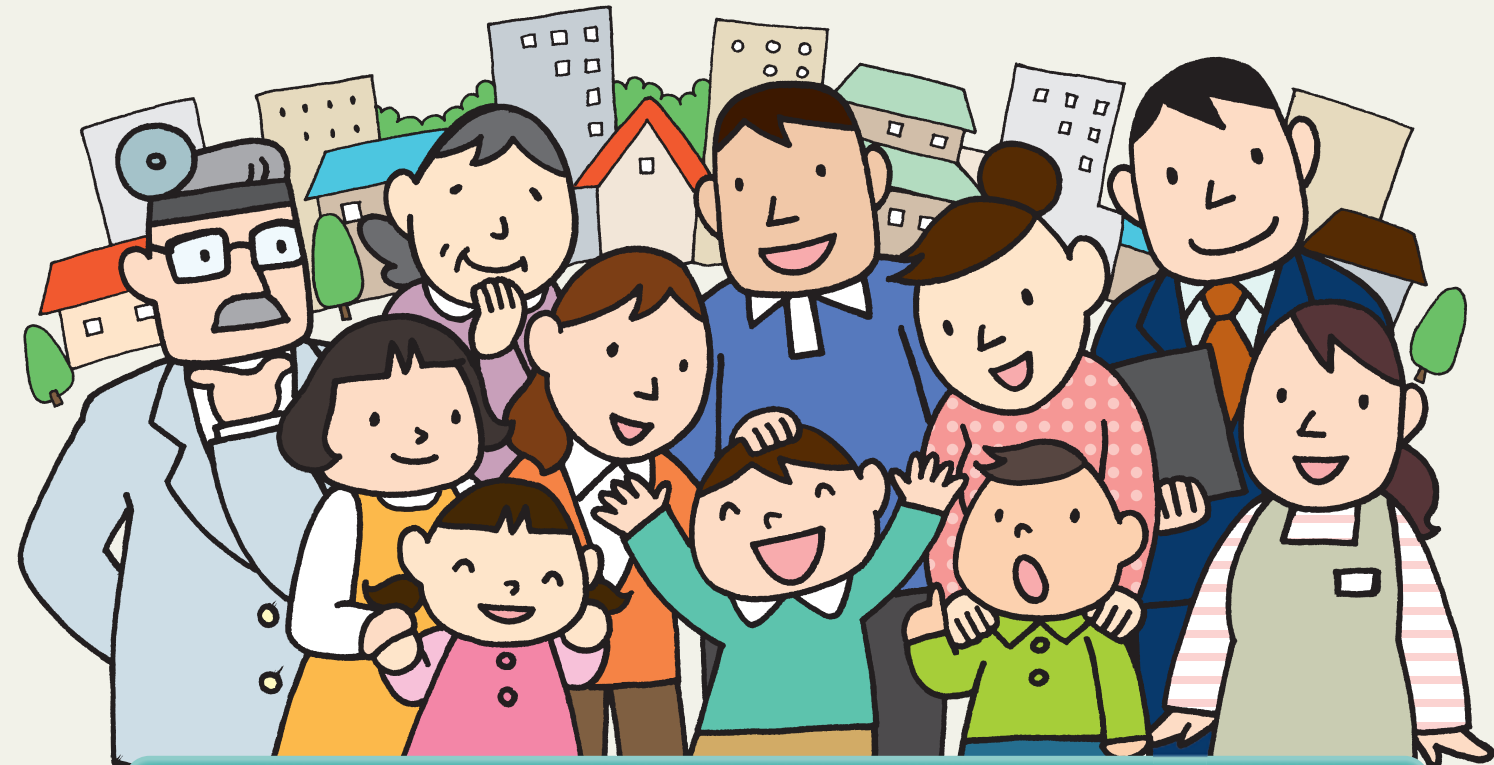


心強い支援の輪

保護者の皆様へ

支援の必要な子どもたちを 地域の力で支える

—発達障害のある子どもとその家族への支援—



このリーフレットは、保育所、幼稚園、小学校に通っている発達障害のある子どもについて、正しく理解していただきたいと願い作成しました。

発達障害は脳の機能障害であるため、外見ではわかりにくく、子どもの努力や我慢不足、家族のしつけの問題と誤解される傾向があります。保護者の皆様には、このリーフレットを読んでいただき、発達障害のある子どもとその家族のよき理解者になっていただきたいと思います。

なぜなら、これらの子どもたちがよりよく成長するためには、周囲の人々の理解と支援が必要だからです。

地域の人たち

支援の必要な子どもと、その家族のよき理解者となって、一緒に支える仲間になります。

友だち

担任の先生

一人一人を大切にする学級経営を行いながら、特性に配慮した学習指導や生活指導、環境の調整を行います。

医療機関

診断を行い、症状に合わせた治療やトレーニングを行います。

家族

保健室の先生

スクール カウンセラー

相談機関

特別支援教育コーディネーター

各学校の特別支援教育の推進役であり、保護者からの相談窓口になったり、医療・福祉などの関係機関との連絡調整を行ったりします。

困ったことがあれば、相談してください。

通級指導教室

ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、週に数時間、人間関係づくりやコミュニケーションの能力を高めるための指導などを受ける教室です。

発達障害に関する情報が掲載されているホームページ

- 香川県障害福祉課 → 発達障害情報
<http://www.pref.kagawa.jp/shogaihukushi/fukushijoho-hp/>
- 発達障害情報センター <http://www.rehab.go.jp/ddis/>

主な相談機関

- 香川県発達障害者支援センター「アルプスカガワ」 高松市田村町1114(かがわ総合リハビリテーションセンター内)
TEL:087-866-6001【受付:月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00】
- 香川県障害福祉相談所 高松市田村町1114(かがわ総合リハビリテーションセンター内)
TEL:087-867-2696【受付:月～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:15】
- 香川県精神保健福祉センター 高松市松島町1丁目17-28(香川県高松合同庁舎内)
TEL:087-804-5566【受付:月～金曜日(祝日を除く) 9:00～16:30】

※香川県教育センター、県内全ての特別支援学校、各市町の母子保健・障害福祉担当課、教育委員会にも相談できます。

このリーフレットは、平成23年度 厚生労働省「障害者自立支援臨時特例交付金事業」及び、文部科学省「特別支援教育総合推進事業」のもと、香川県障害福祉課、子育て支援課、教育委員会が、共同で作成したものです。

支援の必要な子どもとその家族を 地域で支えるために



ポイント1 子どもからの信号に気づき、 支援を始める

「何度注意しても、同じ失敗やトラブルを起こしている」。これが、子どもからのSOS信号です。発達障害(LD、ADHD、高機能自閉症等)に起因する可能性があります。



ポイント2 一番困っているのは 子ども自身であることを、 みんなが理解する

発達障害のある子どもは、指示に従わないのでも、故意にトラブルを起こしているのでもありません。どうすればよいのかが分からず、困っているのです。



ポイント3 望ましいかかわり方を 一緒に考える

子どもを叱ったり、家族を批判したりするのではなく、どうすれば改善できるのかをみんなで一緒に考えてください。周囲の人が同じ対応をすることによって、子どもは望ましい行動を身に付けます。

発達障害による特性

LD(学習障害)

聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する能力のうち、極端に苦手な部分があります。例えば、聞いて理解すること、自分の考えを言葉にまとめること、本をすらすら読むことなどが苦手です。

ADHD (注意欠陥多動性障害)

集中力を持続することや自分の行動をコントロールすることが苦手です。例えば、最後までやり遂げること、じっとしていること、順番を待つことなどが苦手です。活発で行動力があるという長所にもなります。

高機能自閉症

※知的障害を伴わない自閉症

コミュニケーションや暗黙の了解、友だち関係づくりが苦手です。特定の物事へのこだわりがあり、同じ行動を繰り返す傾向があります。特定分野での知識の獲得に優れ、「○○博士」と呼ばれることがあります。

支援の必要な子どもの成長を促す 望ましいかかわり方の例



子どもへのかかわり方

ポイント1 望ましい行動を、 短く、具体的に伝える

人の話をじっと聞いたり、多くの内容をまとめて理解したりすることが苦手です。しかし、やるべきことが分れば、素直に指示に従い、意欲的に行動します。



ポイント2 できた時には、 すぐに褒める

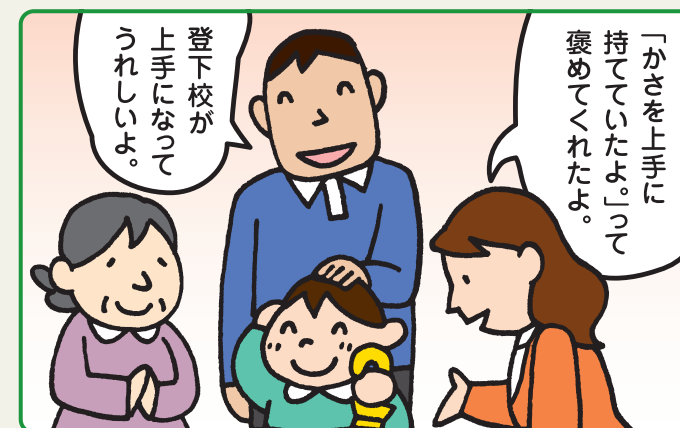
「できた」「褒められた」という経験が、やればできるという自信や、また頑張ろうという意欲を育み、よい学習習慣や望ましい行動を身に付けることに繋がります。



家族へのかかわり方

ポイント1 子どものよさを伝える

家族は、子どもの行動に心を痛めています。気になることだけでなく、よい面やうまくできたことを伝えてください。



ポイント2 子どもの成長を 一緒に見守る仲間になる

周囲の人々の理解と協力によって、家族の心の負担が軽くなったり、望ましいかかわり方の輪が広がったりします。それが、子どもの心の安定と、よりよい成長に繋がります。